

## きゅうりブルームレス台木品種「ひかり1号」

野菜花き部・南部分場

### 1. 背景とねらい

本県のきゅうり栽培では、63年にブルームレス台木の導入が本格的に行われ、今後、さらに拡大する状況にある。

近年、ブルームレス台木品種が多数発表され、台木品種の選定と栽培法の確立が求められている。

そこで、台木品種について検討した結果、「ひかり1号」が有望と認められたので、参考に供したい。

### 2. 技術の内容

#### 1) 台木品種「ひかり1号」の特性

(1)半促成、露地夏秋どり作型において、果実にブルームの発生はみられない(表-2)

(2)ブルームレス台木の側枝の発生は生育後期に劣ってくるが、「ひかり1号」は比較的発生が多い。

(3)ブルームレス台木品種の収量は、劣る傾向であるが、「ひかり1号」は良果率が高く、収量は安定している(表-1)。

(4)果実の光沢は強く、外観品質が良い(表-2)。

#### 2) 品質の育成元

ときわ研究所

#### 3) 適応地域および作型

適応地域：県下全域 適応作型：半促成、露地夏秋どり

### 3. 指導上の留意事項

1) 種子と小さく、胚軸が細く伸びにくいことから、台木の播種は、きゅうりより、半促成では3~4日、露地夏秋どりでは2日程度早くする。

2) 呼び接ぎでは、穂木の胚軸が台木の胚軸よりも1cm程度長めがよく、接木部位を高くする。

3) 自根の発生防止のため、深植にならないように注意し(鉢土の上 1cm)、主枝は早めに誘引する。

4) 第1果は、従来の台木より1節高い9~10節から着果させ、側枝は1~2節上の6~7節まで除去し、初期の草勢を強くする。

5) 側枝の発生は、黒ダネよりも弱いので、中段の側枝は3本以上放任し、草勢の維持を図る。

6) その他の留意事項は、62年度参考事項きゅうりブルームレス台木の特性を参照のこと。

### 4. 当該事項にかかる試験研究課題名(省略)

### 5. 参考文献・資料(省略)

6. 試験成績の概要

表-1 収量調査 (昭63)

	10株当り (本)			収量 (良+曲) (kg/10a)	同左比 (%)	良果率 (%)
	良果	曲果	障害果			
黒ダネ南瓜	459	362	523	9,770	100	34.2
強力新和	341	264	341	7,200	74	36.0
輝 虎	361	312	406	8,009	82	33.5
雲龍 1号	331	315	396	7,687	79	31.8
雲龍 2号	322	313	397	7,557	77	31.2
ひかり 1号	357	297	333	7,787	80	36.2
ひかり 2号	341	321	429	7,878	81	31.3
緑 光	352	322	390	8,021	82	33.1
一輝 1号	319	314	416	7,533	77	30.4
T - 78	340	303	395	7,652	78	32.8
台 - 7	367	337	508	8,378	86	30.3

注) 穂木 南極1号 播種 5月2日 定植 6月7日

表-2 特性調査

	草勢	ブルームの発生程度		果色	光沢	揃い	品質	食味	総合評価
		昭62	昭63						
黒ダネ南瓜	強	中～多	中～多	濃緑	中	良～中	中上	○	
強力新和	中		少～中	濃緑	中	中	中上	△	
輝 虎	中	無～中	無	緑	強～中	良	上	○	○
雲龍 1号	中	無	無	"	強	良～中	上	○	○
雲龍 2号	中～強	微	微	"	やや強	良～中	中上	○～◎	△
ひかり 1号	やや強		無	"	強	良	上	○～◎	◎
ひかり 2号	強	微	微	"	やや強	良	中上	○	△
緑 光	中		無～中	"	強～中	良	中上	○～◎	△
一輝 1号	中		無	"	強	良	上	○～◎	○
T - 78	やや弱		無	"	強	良～中	中上	○	△
台 - 7	やや強		微	"	やや強	良～中	中上	○～◎	△

注) ◎良 ○やや良 △普通